

令和6年度(2024 年度)第4次枚方市子ども読書活動推進計画進捗状況

I 第4次枚方市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方

1 基本目標

読書が子どもの「生きる力」の育成に効果的であることを踏まえ、すべての子どもが読書習慣を身に付け、より多くの本を自発的かつ継続的に読むようになるよう、家庭・学校・地域が連携・協働して、発達段階に応じた子ども読書活動の環境づくりに取り組みます。

2 基本方針

基本目標を踏まえ、子どもの生活の場である家庭、地域、学校と、それらの場すべてに関わる図書館の取り組みについて、以下の基本方針を柱に子どもの読書活動の具体的な施策を展開し、推進する。

- 基本方針 1 家庭における子ども読書活動の推進
- 基本方針 2 地域における子ども読書活動の推進
- 基本方針 3 学校における子ども読書活動の推進
- 基本方針 4 図書館における子ども読書活動の推進

II 令和6年度(2024 年度)の進捗状況

基本方針 1 家庭における子ども読書活動の推進

家庭での読書活動推進

主な取り組み(資料5-2:参考資料P1)

■ プレママ・プレパパや乳幼児の保護者を対象とした絵本読み聞かせ講座

- ・ 「赤ちゃんを楽しませよう」と開催(中央図書館)

■ 読み聞かせ推奨パンフレット作成・配付

- ・ 「ねえ、よんで!」の4カ月健診時配付を継続し、3月には内容を改定した。

■ 図書館利用の推進

- ・ 新たに読書通帳型「ひらかたブックダイアリー」の運用を開始

令和6年(2024年)9月にオープンした市駅前図書館に続き、中央図書館・全分館でも配付を開始した。

基本方針 2 地域における子ども読書活動の推進

保健センターによる読書活動推進

保育所・認定こども園・幼稚園等による読書活動推進

子育て支援団体による読書活動推進

留守家庭児童会室による読書活動推進

地域のボランティア等による読書活動推進

主な取り組み(資料5-2:参考資料P1~P2)

■ 母子保健事業における読書活動の推進

- ・ 市駅前図書館オープンに伴い、まるっとこどもセンターとの相互連携として乳幼児健康診断時に図書館が継続しておはなし会を実施する取り組みを開始し、乳幼児や保護者に対する読書へのアプローチが飛躍的に進んだ。

- ・ 4 か月健診時には、読み聞かせ推奨パンフレット「ねえよんで！」に加えて、読書通帳「ひらかたブックダイアリー」の配付を開始した。
- ・ 9 月～3 月の期間、前年度と比較して 0～6 歳児の利用者数が約 5,000 人増加した。

■ 保育所・認定こども園・幼稚園等による読書活動推進

- ・ ブックスタート事業として、市内 55 か所の保育所（園）等で継続実施した。

■ 子育て支援団体による読書活動推進

- ・ 図書館等 8 か所で市民団体が、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施し、子育て世代の親子の絵本への関心を高める取り組みを行った。

■ 留守家庭児童会室による読書活動推進

- ・ 放課後子ども課と連携して、中央図書館発着の学校図書館への配送便を活用して、5ヶ所の留守家庭児童会室に読書支援用セットを配本し、子どもの読書活動の推進を図った。

■ 地域のボランティア等による読書活動の推進

- ・ イベントの参加者数の増加が見られ、登録団体数が増加し、団体貸出冊数も約 2,000 冊増え、約 36,000 冊となり、市内各地で子どもへの読み聞かせ等の活動が活発に行われた。

基本方針 3 学校における子ども読書活動の推進

児童・生徒の読書活動推進

学校図書館の充実

主な取り組み（資料 5-2：参考資料 P 3）

■ 児童・生徒の読書活動推進

- ・ 小中学校でのタブレットを活用した授業の定着により、子どものひらかた電子図書館の利用が飛躍的に増えた。

■ 学校図書館の充実

- ・ 学校図書館の蔵書については、継続的に学習に必要な蔵書の充実、情報の更新に伴う除籍・買い替えなどの蔵書の充実を図った。
- ・ 小中学校に配置された学校司書のスキルアップを目的に、学校司書連絡会での研修で、学んだことを学校図書館運営に活用した。

基本方針 4 図書館における子ども読書活動の推進

環境整備

広報の推進

子ども向け行事の充実

子どもの読書活動および学習活動の発表の場づくり

おすすめ本の紹介

読書バリアフリーの推進

保護者等への普及啓発

地域との連携

市民との協働

学校図書館への支援

職員の人材育成

主な取り組み（資料5-2：参考資料P4～P8）

■ 環境整備

- ・ 電子図書館の資料充実として、複数の児童・生徒が同時に閲覧できる児童書の読み放題コンテンツを440タイトルから562タイトルに増やし、コンテンツの内容も朝読書や調べ学習などにも活用できる、より魅力的なものに入れ替えるなどの工夫を行った。
- ・ 電子図書館の利用促進として、児童・生徒のタブレット端末のホーム画面にひらかた電子図書館のショートカットアイコンを設定し、子どもたちがひらかた電子図書館にアクセスし易くなるよう工夫をした。
- ・ 令和5年度では約5万件だった閲覧数が令和6年度には約15万件と3倍になった。
- ・ 電子申請による利用者登録においても18歳以下のネットでの登録申請の増加が見られる。

■ 広報の推進

- ・ 電子図書館の利用促進のPRの回数を増やすなどの取り組みを行った。
- ・ スマート登録、ひらかた電子図書館のリンクをホームページやSNSの発信に合わせて設定した。
- ・ リーフレット、ポスターに二次元コードを掲載するなど、容易にアクセスできるようにした。
- ・ 学生層への働きかけとして、自習コーナーの机にひらかた電子図書館の二次元コードを貼付するなど、様々な機会をとらえてPRに努めた。

■ 子ども向け行事の充実

- ・ 年齢に応じたおはなし会の実施では、着実に各種おはなし会の参加者が増加しており、特に乳幼児のおはなし会で参加者数の増加が顕著になっている。

■ 子どもの読書活動および学習活動の発表の場づくり

- ・ 中学生の調べ学習コンクール、こころをつたえよう！ひらかた朗読大会を開催した。

■ おすすめ本の紹介

- ・ 各種ブックリストの作成・配布を行い、小中学生のタブレットへの配信も行った。

■ 読書バリアフリーの推進

- ・ 点字付き絵本や拡大図書など、バリアフリーに配慮した資料を展示する、りんごの棚¹を常設展示
- ・ 手話で楽しむおはなし会、多言語で楽しむお話し会を開催した。

■ 保護者等への普及啓発

- ・ 改訂した読み聞かせ推奨パンフレットを乳幼児期の読み聞かせ講演会で配布し、乳幼児期の読み聞かせの重要性についての啓発を行った。

■ 地域との連携

- ・ 保育所、保育園、認定こども園・幼稚園留守家庭児童会室、その他の子ども関係の施設による団体貸出利用数が増えてきている。

■ 市民との協働

- ・ 読書活動推進ボランティアのスキルアップ等を目的に交流会及び研修会を開催した。
- ・ 研修会では、絵本学研究所を主宰する正置友子さんを講師に招き「生きるための絵本 絵本と言う宝物を子どもたちに手渡すために」という講演会を開催した。
- ・ これらの取り組みにより、ボランティアによる地域でのおはなし会の開催回数も着実に増えてきている。

¹ スウェーデンの図書館が全ての子どもたちに本を届けるためのサービスとして始めたもの。言語障害のある子どもたちのために作ったりんごのおもちゃがその由来となっている。

■ 学校図書館への支援

- ・ 学校図書館をバックアップする機能として、調べ学習に活用できる図書の充実を図った。

■ 職員の人材育成

- ・ 学校で開催された「えほんのひろば」を見学し、実際に子どもたちがどのような絵本に興味を持つのかなどを把握することで、職員の選書に生かした。
- ・ 中央図書館で開催される学校司書連絡会において、学校図書館で活用された本の情報交換や学校図書館での取り組み事例を発表することにより、スキルアップを図った。

総括と今後の取り組み

■ 令和6年度の総括

- ・ 枚方市駅直結のステーションヒル枚方の6階にまるっとこどもセンターが、5階に市駅前図書館がオープンしたことにより、相互連携がしやすくなったことで、乳幼児や保護者に対する読書へのアプローチが飛躍的に進んだ。
- ・ ひらかた電子図書館の子ども向けの読み放題コンテンツを充実させたことなどにより、児童・生徒の電子図書館の利用が増え、新たな読書習慣の普及に繋げることができた。
- ・ 市内で活動する子ども読書活動推進ボランティアへの研修や交流会を開催することにより、地域でのボランティア活動の活性化を図ることで、より身近な場所で読み聞かせが活発に行われるなど、子どもたちへの読書活動を推進することができた。

■ 今後の取り組み

- ・ まるっとこどもセンターで行われる健診時の読み聞かせを継続実施するとともに、同センターで開催される講座などに関連した図書の紹介やコラボイベントの開催などを視野に更なる連携強化を図る。
- ・ 健診や各種講座の後に、ひらかたブックダイアリーの活用方法や図書館で開催する乳幼児向けのおはなし会、お誕生日会などのイベントの案内を行い、図書館利用に繋げるとともに「読み聞かせ」というツールによる、ふれあいを通した読書習慣の大切さや楽しさを知ってもらえるような取り組みを行う。
- ・ 学校での読書活動の推進として、教育指導課、教育研修課と連携してニーズ合わせた資料の確保に努めるとともに、朝読書などでも活用できるひらかた電子図書館の読み放題コンテンツの更なる充実を図り、いつでもどこでも好きな時に読書が楽しめる環境として、タブレット等の活用を含めた児童・生徒への読書習慣の確立を図る。
- ・ 絵本などの図書館資料の充実には努めるとともに、配本も含めた団体貸出の利便性の向上を図ることで、子どもの読書活動をより推進できるよう環境を整える。